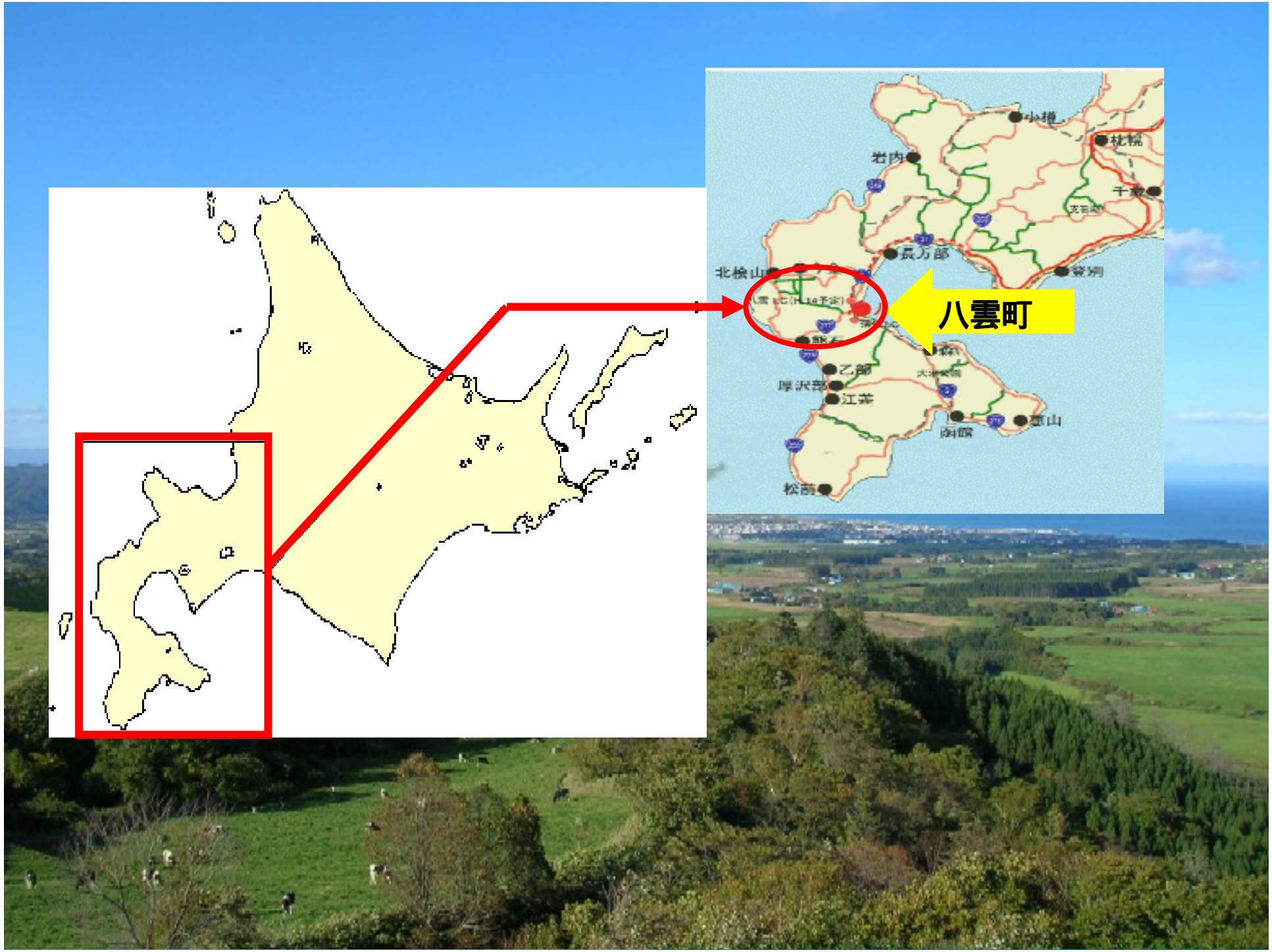
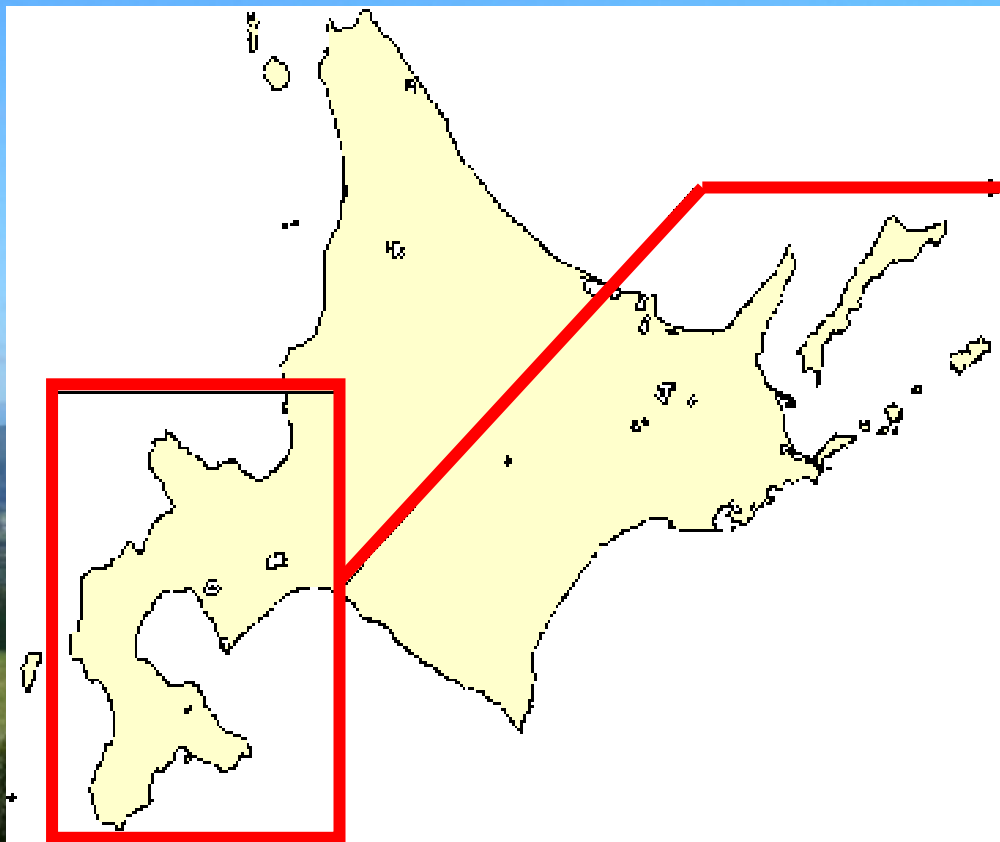


人・牛・大地の融合

ロマン実らせた放牧酪農

小栗隆・美笑子





小栗牧場の経営概要

(平成18年現在)

面積: 約60ha

頭数: 成牛46頭、育成牛24頭

経産牛1頭当たり乳量: 7,237kg

年間出荷乳量: 312t

チーズ工房向け乳量: 1,600kg

労働力: 4人



経営理念

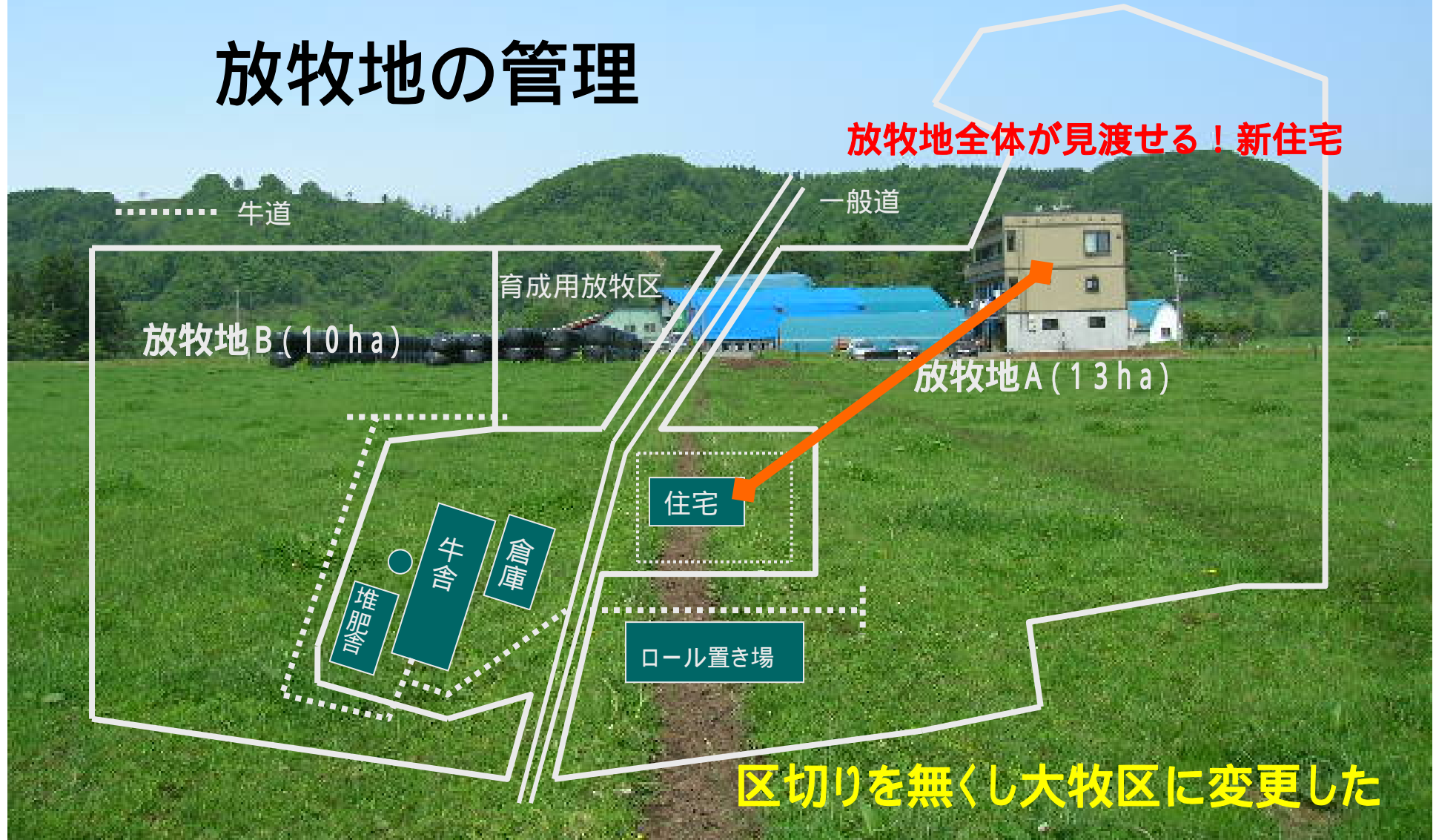
牛にできることは、牛にやってもらう

牛にも人にも無理をかけない・させない



放牧酪農への歩み

放牧地の管理





放牧地・採草地の施肥管理

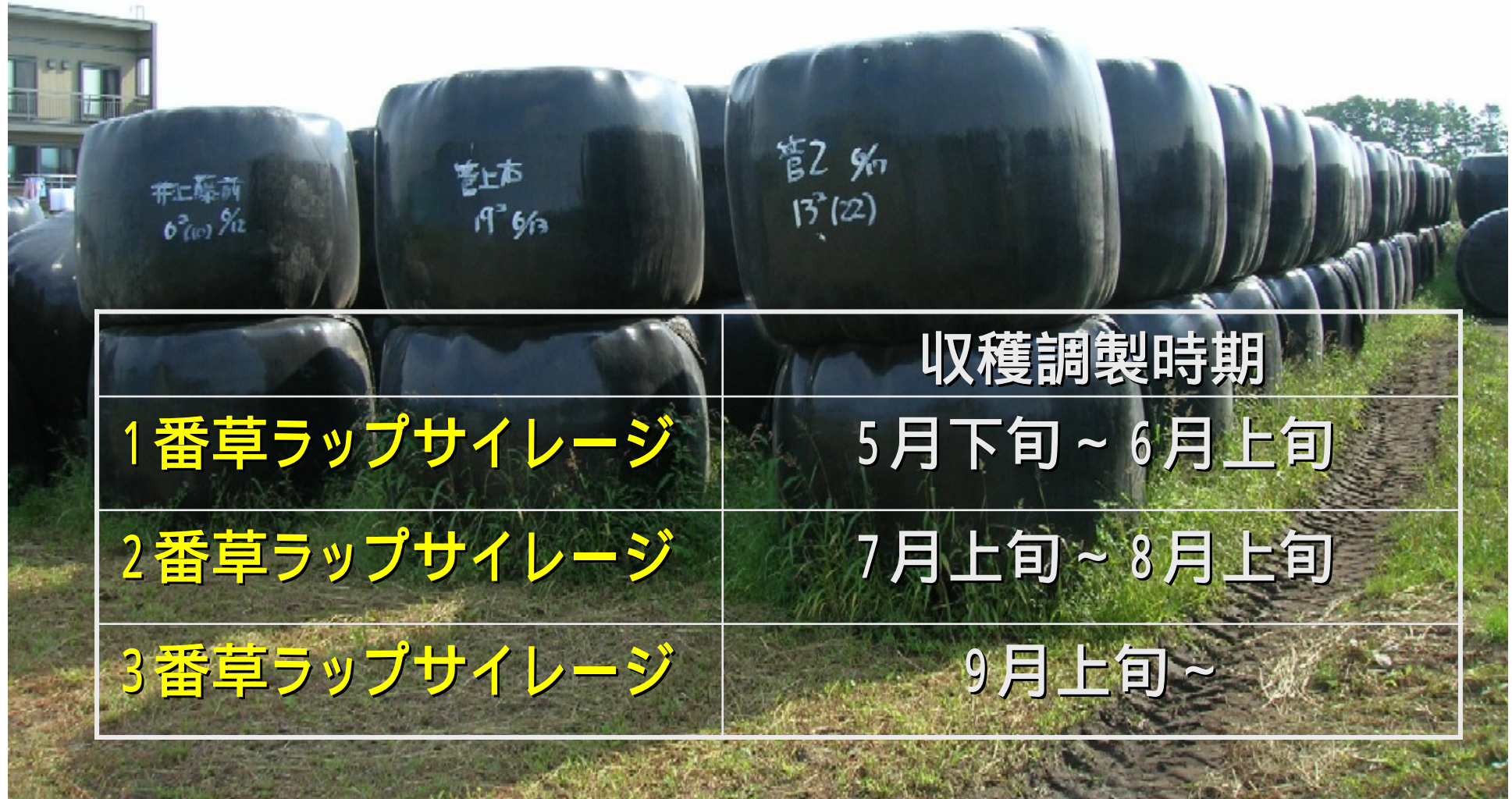
放牧・採草地は無化学肥料
微生物資材(ふん尿)を活用

区分	面積 (ha)	施肥管理(隔年)					
		肥料名	施肥量	肥料名	施肥量	肥料名	施肥量
			(kg/ha)		(kg/ha)		(kg/ha)
放牧専用地	16.4	炭カル	500				
採草専用地	34.1	炭カル	500	堆肥	5,000	尿	3,500
兼用地	6.6	炭カル	500	堆肥	5,000	尿	3,500



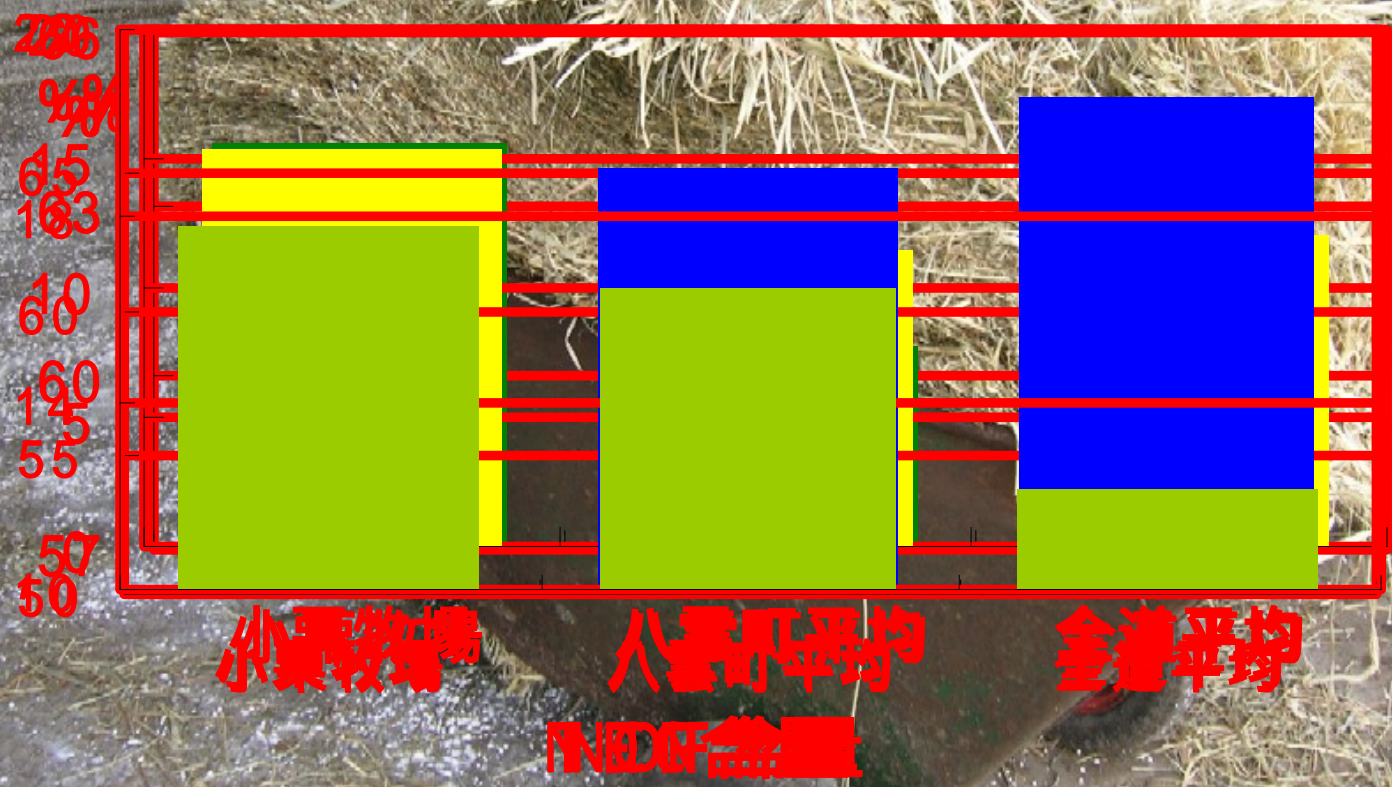


粗飼料の栽培と収穫調製



	収穫調製時期
1 番草ラップサイレージ	5月下旬～6月上旬
2 番草ラップサイレージ	7月上旬～8月上旬
3 番草ラップサイレージ	9月上旬～

1番草サイレージの栄養価



飼料給与管理

配合飼料は、NON - GM (遺伝子組み換えをしない)

PHCF (収穫後に農薬散布をしない)

原料を使った飼料を給与

農家名を消費者へアピールすることで、
生産者の生産責任を明確にしている。

函館酪農公社企画によるプレミアム牛乳「緑と牛と大地」地域の酪農家11戸が参画



夢とゆとりの実現：チーズ工房

新住宅1Fに設置されたチーズ工房
商品は自宅で直売を行うとともに、
地元のホクレンショップでも販売。



まとめ

放牧酪農の可能性...



ご静聴ありがとうございました。

